

「斜めの道」の愛称が

どうそじん

道祖神通りに決定!

たくさんのご応募とご意見を
ありがとうございました!

おくさわ風景キャラクター
わっこちゃん



昨年度より多くの皆様からご応募、ご意見をいただいております、奥沢駅と奥沢子安公園方面を結ぶ斜めの道の愛称が、「道祖神通り(どうそじんどおり)」に決定しました。

今後、界わい形成地区のエリア名(道祖神通りエリア)として使用するとともに、風景づくりの取組みに活用してまいります。

※「道祖神通り」は愛称として使用するものであり、「世田谷区道路通称名」として使用するものではありません。



奥沢小学校の令和2年度3年2組の皆様をはじめ、多くの方から提案いただいた「道祖神通り」の愛称は、通行人や住民の安全を見守る道の神様への感謝の想いが込められています。



愛称が決まるまで

最終候補の詳細は、次のパネルへ!

愛称案を募集

(令和2年12月
~令和3年1月)

第1回
オープン
ハウスにて
ご意見を募集

「いいな」との
意見が多かった案に
奥沢小3年生からの
案を加え
最終候補を選定

第2回
オープン
ハウスにて
ご意見を募集

これまでのご意見をもとに選定会により
「道祖神通り」
に決定!

134案

意見数
124件

11案

意見数
87件

詳細はこちらで
ご覧いただけます▶



最終候補となった愛称案（11案）

ご提案のあった134案の愛称案を皆様のご意見をもとに11案に絞り、選定会での話し合いにより、愛称を決定いたしました。最終候補となった愛称案をご紹介します。

ご提案の理由

①（奥沢）道祖神通り

2020年度 奥沢小学校
3年2組他からの応募案

道の交差点にある通行人や住民を災難から守る「みちの神」道祖神が、毎日通る人々を見守っている様子が目に浮かぶ、奥沢小の子どもたちから道祖神への感謝の気持ちが込められた愛称です。

みんなを見守る道祖神が道の中心にあるから！

道祖神は道中の安全を守る。「町に邪気や悪霊が入るのを防ぐ」という説がある。通りを安全に守ってほしい！

「みちの神」道祖神は、未来永劫、移動することがないから！

②奥沢クロスロード

五差路、六差路と交差する特徴的な風景がみられる4つの交差点を表しており、子どもにも覚えやすい愛称です。

五差路（3か所）、六差路（1か所）と交差するポイントが多いから！

③（奥沢）子安通り

奥沢駅から子安公園方面への近道となっており、また「子安」は「子どもの安全」とも読むことができ、子どもたちが快適・安全に通ることができるように、という願いが込められている、親しみやすい愛称です。

子供達が快適・安全に通れる道をイメージ。

人と人がつながりを大切に街を育ててきた方々がいて現在がある。愛称は奥沢の歴史や魅力を伝えるものであってほしい。

奥沢本村の氏神「子安稲荷大明神」の子安神は「児安」とも書き、児童の安全を守ることに通じるから！

奥沢駅から子安公園の近道だから！

④（奥沢）ななめ通り

地図で見ると、この通りは格子状の街区に斜めに突き抜けている事がよくわかります。通りの形状をそのまま愛称とした、わかりやすく呼びやすい愛称です。

奥沢駅から住宅街を斜めに通っている道だから！

地図上でななめに通っているから！

⑤みどりの散歩道

通りの沿道の家々には豊かな緑が植えられており、歩くたびにその風景に癒されます。これからもみどりのあふれる通りであってほしいという願いが込められた愛称です。

ななめの道には緑がたくさんあり、歩くたびにその緑に癒されているから。その緑がもう少し増えたらさらにステキな通りになると思うから！

⑥ きらきらロード

2020年度 奥沢小学校
3年3組他からの応募案

沿道にお住まいの方々による日々の清掃活動により、通りがきれいであることを表し、あえて「きらきら」をひらがなとしたことで、奥沢小の子どもたちからの親しみが込められた愛称となっています。

ゴミが落ちていないきれいな道で、
緑が多く、春には桜も咲いて
きらきら輝いているから！

⑦ やすらぎストリート

「やすらぎ」という言葉が柔らかく、心和むような印象を与えてくれます。奥沢駅から家路を歩く人々が、ひと時のやすらぎを覚えるような街の光景を連想させる愛称です。

駅から歩いていくと、
道祖神のある交差点
あたりから急に
緑や空に包まれ、
やすらぎを感じるから！

道祖神がある交差点の周辺には、
さくらやジューンベリーの木々、
草花の植え込みなどがあり、
通りかかるといつも
心がやすらぐから！

⑧ (奥沢) 本村通り

「奥沢」の名称は、江戸時代に「奥沢本村」と名付けられていたことから、その由緒のある「本村」の名を後世に語り継ぐことができる、まちの歴史を感じさせる愛称です。

奥沢の由来は、
1570年に和田朝清がこの地に来て、
江戸時代に「奥沢本村」と称したという。
愛称には、その由緒のある名を記したい！

⑨ 奥沢 (みどり／緑) の道

通りに面する住宅にはたくさんのみどりが植えられ、通る人々がそのみどりに心癒されながら歩く様子が思い浮かぶ、そんな愛称です。

皆から愛される
みどり豊かな道に
なることを願って！

緑を感じられるこの道を
通ることで心を落ち着かせて
欲しいから！

⑩ バックスラッシュ

インパクトがあり覚えやすいことに加え、「区切る」を意味するスラッシュの反対の意味を持たせ、区切りのないまちのつながりを大切にしたいという想いが込められている愛称です。

通りが「/」“スラッシュ”の逆、
“\” “バックスラッシュ”の形をしている。
スラッシュは、「区切り」を意味するため、
その逆の意味として、
「区切らずにこの道があることで、
街を一つにしてくれる存在」であることを意味する。

⑪ 神名道路

2020年度 奥沢小学校
3年1組からの応募案

通りの途中にある道祖神＝神様がいつも街の人々を見守ってくれているという、提案者である奥沢小の子どもたちの優しい気持ちが込められている愛称です。

道の途中にある道祖神に注目。
神様がいて道ということで、
「神様の名前」からとって
「神名道路」にした。

奥沢1～3丁目 今・昔

1947年の奥沢1～3丁目では、昭和初期に行われた「玉川全円耕地整理」により、すでに現在の元となる街区が整っていることが分かります。奥沢駅と子安公園方面を結ぶ斜めの道も確認できます。

また、区域内は宅地化が進んでいますが、ところどころに田畑が残っている様子が見られます。

1947年の奥沢1～3丁目



2019年の奥沢1～3丁目



* 出典：国土地理院ウェブサイト

奥沢の風景。なにもしないと、将来こうなってしまうかも。

現在の風景

将来の風景はどう変化していくのでしょうか・・・



奥沢の風景を守り育てる取組みがなければ…
風景は大きく変化してしまうかもしれません。

親の代が作り上げた街並みを
次の代に残したいなあ。



建替えや新築によって街並みは変化するわ。だから、計画する際に周辺の風景に配慮することが大切になるのよ。